

# 学校から発信する 家庭教育支援プログラム 活用リーフレット

近年の少子高齢化、核家族化、地域における地縁的なつながりの希薄化などにより、育児の不安を抱えたりしつけへの自信を失ったりする保護者の姿が見られます。

「保護者は、子供を育てていく上で多くの情報を学校から得ています。」

学校から保護者へ向けた働きかけとは？ 家庭教育が果たす役割は？

そんな時、活用してほしいプログラムです！

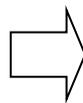
最新情報はHPからダウンロード

ちば 学校から発信



学校のサーバにコピーOK！  
データを印刷して配付OK！  
部分コピー・ペーストOK！

「授業の準備で  
手一杯！」  
「学級懇談会の  
内容と資料、  
どうしよう？」



「家庭学習について」の  
演習シートと指導用  
プログラム！  
これを使ってみよう！

- 使い方はいろいろ！
- 学校便り、学年便り
  - 長期休業の資料
  - 就学時健診の資料
  - ミニ集会や家庭教育学級の資料
  - 入学説明会や保護者会の資料
  - PTA広報紙の資料 など
  - 保護者面談の資料
  - ホームページ
  - 家庭学習の手引き

すぐ使える・すぐ配れるシートが満載！  
切り貼り簡単！  
ワード版もダウンロードできます。

○「学校から発信する  
家庭教育支援プログラム」

スマートフォンはこちらから



【お問い合わせ先】

千葉県教育庁 教育振興部 生涯学習課 学校・家庭・地域連携室

TEL 043-223-4069

# プログラム活用例1

親子のかかわりをもっと大切にしてほしいなあ。何か良い資料はないかな？



よっ！この中から配付資料を探してみよう！

## 1. 親子のコミュニケーション

### お子さんの会話を大切に

家族団圓の場所や時間がありますか？  
お子さんの好きな歌、好きな食べ物、好きなタレントを知っていますか？  
お子さんの将来

### 6. 友人関係

友だちの名前と顔が一致し、住所なども知っていますか？  
子どもの友だちの名前と顔が一致していますか？中学時代は学年や学年の友だちや先輩たち、また先輩や後輩を知った他校の友だちなど、小学校以上に交流の機会が広がる時期です。また、行動範囲も飛躍的に広がります。家に居るに比べて、ときどきを利用して、お子さんの友だちの名前を覚えておくことや、住んでいる場所などを知っておくなど、子どもの交友関係を把握することが大切です。

### 家庭で帰宅時刻や外出についての把握をしていますか？

ある事例です。生徒の下校後、外へ出る頻りに保護者の方から電話がかかってきました。内容は「子どもがまだ帰ってこないのですが、今日の下校時刻は何時でしたか？」と言うもので、後日、生徒は聞くと、「友だちの家まで遊びに行っていた」とのことでした。保護者の方からは「帰宅時刻については各家庭で把握しておくことが大切です。また、外出する場合はどこへ、誰と出かけるのかについても把握しておくことが大切です。」とアドバイスされています。

中学校から発信する

## 家庭教育支援資料

- |                     |     |     |
|---------------------|-----|-----|
| 1 親子のコミュニケーション      | ワード | PDF |
| 2 学習成績と進路           | ワード | PDF |
| 3 安全な生活（交通安全、不審者等）  | ワード | PDF |
| 4 携帯電話を中心としたメディアの活用 | ワード | PDF |
| 5 心の成長と家族           | ワード | PDF |
| 6 友人関係              | ワード | PDF |
| 7 栄養強い              | ワード | PDF |
| 8 食生活               | ワード | PDF |
| 9 部活動               | ワード | PDF |
| 10 登校時の心と身体、異性と性    | ワード | PDF |
| 11 中学校入学生を持つ保護者の皆様へ | ワード | PDF |

今回は、1の親子のコミュニケーションと、6の友人関係を使おう。

配付にも！

# プログラム活用例2

家庭でのより良い過ごし方。保護者と一緒に考える為の資料はないかしら？



「子どもとの会話や過ごし方」の指導案と、「ゲーム・テレビ等で費やす時間と影響」の資料を組み合わせる使ってみましょう。

## 子どもとの会話について考えよう。指導のためのプログラム

<展開例>

1. 指図の機会

小学校（学級懇話会）

小学校 全学年保護者

3. ねらい

家庭は誰か

(1) 題材 子

(2) 展開

10

1 導入

の別紙

に、

20

2 展開

(1) 子

14

## 5. ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響

テレビやゲームを長時間すると「少しのことでもイライラする」「怒ったり机をたたいたりする」「人間関係をうまく作れない」「他人を思いやる心が育たない」など、子どもの健全な成長に影響するのではないかと心配されています。

ゲームやテレビの悪い影響を受けないためには、どうしたらいいの？

## 指導のためのプログラム

子どもとの会話について考えよう。

ゲームやテレビ等に費やす時間と影響

その1

その2

その3

その4

その5

その6

その7

その8

その9

その10

その11

その12

その13

その14

その15

その16

その17

その18

その19

その20

その21

その22

その23

その24

その25

その26

その27

その28

その29

その30

その31

その32

その33

その34

その35

その36

その37

その38

その39

その40

その41

その42

その43

その44

その45

懇談会にもすぐ使える！

# プログラム活用例3

# PTAでも！



保護者にとって、同じ年頃の子どもを育てているママ友・パパ友や子育ての先輩たちの支えやアドバイスは心強いものです。PTA活動（広報紙や家庭教育学級）の資料としても活用できます！  
※先生方からPTAの方へ情報提供をお願いします。



県教育委員会HP上にはない資料が多数収録されていますよ！

配付CDには、親子のかかわりにつながる「親の思いを伝える『私のメッセージ』とは」「あいさつは心のコミュニケーション」があります。下の順にクリックして活用してください。

メインメニュー → 小学校編（中学校編） → 資料集